

平成八年三月発行
東海大学付属望星高等学校同窓会
発行人 Tel 03(3467)8111
下倉良次

東海大学付属望星高等学校

同窓会報

第18号



校長工藤

挨拶

仁

会員の皆さん方、いかがお過しでいらっしゃいますか。皆さん元気で活躍されておられるごとお察し申し上げます。会員の大勢の方々のご支援をいただいている母校も、お陰様で順調に教育活動を展開し、成果を上げているところでありまして、皆様方に心から感謝を申し上げるところでございます。

さて、人の顔がそれぞれであるように、考え方も色々であります。物事を深刻に、悲観的に見ると、打開策を求めるながら樂觀に考えて生きている人、それぞれであります。

日本は急速に高令化社会に向かっていて、あと二十年も経つと、六十五才以上の高令者人口が二十五%に達し、生産年令人口の三人に一人が老人を扶養しなければならない時代なると言られています。

生産年令は十八才～六十五才とみて、それ以上を老人とすると、確かにそんな答えになるであります。実態はその通りになるのでしょうか。大変気がかりであります。或る資料をもとにした研究結果によれば、老人全てが若い人に養われる者でないし、生産年令の人口も社会の環境や構造変化などで将来は

もっと高令までとなり得ますし、女性就労も今日と比較にならぬ程、増加することも考えられます。また、六十五才以上の老人といつても今現在も五十%の人は誰の世話にならずに生活しているし、三十五%程度の人は健健康で仕事をし、税金を払い老人だけではなく若い人の面倒も見ている実態があります。残り一十五%の人達が保護老人とみなされるが、本当に介護を要するのは全体の5%位で国際的にみて同様の傾向であります。

人間は死の直前まで機能が保たれる場合が多く、言語能力などは八十才位までは上達するものと言われています。私も間もなく老人年令に達する人であります。これまでの経験を生かし、健康には注意を払い、生涯学習に強い関心をいただきつ人生を送って生きたいものと考えています。

我が国の中等教育は、国際的に高い評価を得ています。しかし喜んでばかりいられない。高校教育にも多くの問題を抱えていました。高校中退をみても、学校不適応を中心とした中途退学者が少なからず存在しています。このことを巡り、生徒自身が悩み苦しみ、親や教師の苦悩も大きい、参考資料によれば、アメリカでは卒業率を九十%に高めるように努めています。

力しているようであります。ですから卒業率では日本に及ぶべくもないのです。学ぶ方法を多様に選択できる望星こそ自主的で、自律的な学び場であります。若者に希望を持たせる意味で我が校の存在こそが大いに意義のあることを自負し、今後も本校の発展を望むと同時に大きな期待を寄せているところであります。

第33回同窓会の御案内

目には青葉行くは望星同窓会。また

またやつて來ました同窓会。毎回参

加の方も、それなりに楽しい同窓会。

学生時代に戻つて、昔話に花を咲かせませんか。ゲーム等では豪華な?

商品も揃え心からお待ちしています。

尚、ご出席できない方もハガキで近況をご報下さい。

記
、日時 平成八年五月二十六日㈰
午後 時より総会
午後二時より懇親会

二、場所 東海大学付属望星高等学校
総会 二階教室
懇親会 生徒ホール

三、会費 三千円
今年度卒業生 二千円
御夫婦での参加 五千円

第三十二回 同窓会総会報告

初夏の爽やかなる日、第三十二回同窓会が母校で開催された。

総会は、総会次第どおり進み決算・予算等執行部提案どおり承認された。この中で特筆されるのは、会員の増加に伴い住所録の整備・会費の管理等にパソコンの充実化を計りたいと言うもので六十万円の予算があげられた。万人を越す会員の管理を考えると機械化される点も仕方がないかと思う。

もう一点は、同窓生には関係のないのが新卒業生から入会金が現行の千円から二千円への値上げも承認された。

これにより在学生及び全国の同窓生にも、



単位制だより

単位制同窓会会长

大串 勝寛

私が望星高校の単位制コースの同窓会々長

を務めさせて頂き始めてから、今年で早くも三年目を迎えることになりました。望星高校

単位制コースを立ち上げて三年が経過しました。大学生活も四年目を迎え、就職活動を目前に控え様々な心境で毎日を過ごしております。

この三年間で多くの人々に出会い、その人々や悩みを持っているのだと感じる三年間でした。



熊本校だより

熊本校同窓会会长

堤 泰夫

九九三年十一月十九日(日)望星高校・熊本校にて、初代支部長(波江健一郎氏)をはじめ支部結成委員会によって選抜された役員候補(同窓生)を召集し、第一回熊本支部会議が、相談役代表の貴嶋隆之(現九州東海

大学事務部部長)氏その他二名の相談役をお招きし開催された。

その席上、役員候補より様々な意見が出され、その中で一番多く寄せられた意見として「是非とも熊本支部ではなく、熊本校同窓会を別組織で結成したい」という事であった。

この意見を参加者全員一致で決定し、その後の話し合いが進められた。

先の決定により、支部役員候補がそのまま熊本校同窓会役員に就任し、初代会長に私が推挙され満場一致で承認された。しかしこの決定には、相談役の方々から次の意見が出された。「支部と熊本校同窓会を全く別組織にするのではなく、仲よくやってほしい」この意見を重視した役員は、直ちに話し合いを進めその結果、熊本支部に事務局を置き事務局長を熊本校同窓会会長が兼務するという決定を下した。この決定により、一つの組織がうまく結び付いた。この口は、その他今後の会の運営方法・会則などについて会議を進めた。

熊本校同窓会の活動として、役員幹部および相談役とで何回かの会合を持ち、第一回の熊本校同窓会役員会の日程を決め、役員を招集させ、この日の目的のつである総会および懇親会について会議を進めた。日程、会場、連絡方法、会費の徴収方法などの細かい所まで熊本校の森高先生(相談役)らの協力を得て、各役員に役割を分担し、精力的な活動を行った。

生懸命にやったかいあって、九九五年十月二十五日(日)第一回熊本校同窓会総会・

終わった。

懇親会には、多忙にもかかわらず大勢の来賓の方々の参加を頂くことが出来ました。特に東京から内木文英名誉校長（学校法人東海大学理事）、成田吏（学校法人東海大学学務部次長）先生のお二人をお招きする事が出来、しかも祝辞まで頂く事が出来関係者同大変光栄であった。

懇親会では、アットホームな望星高校のイメージを大切にするため、何か独自の思考を取り入れようということで、ビンゴゲームをやり少々ではあるが喜んで貰えるような賞品を用意し、内木理事が大当たりされるなど楽しく時間を過ごし、大変な盛り上がりであった。

我々役員としては、総会・懇親会双方とも何もかもがはじめての経験で、同窓生の出席人数や会の進行など色々な不安がありました。が、お陰様で何とか同窓生も〇二名中三〇名を越す出席者で、おもつた以上の成果を納める事が出来感激であった。

私達、熊本校同窓会役員は、これを機会に同窓会のさらなる輪をひろげ、役員会を召集し、第一回・第三回と定期的に総会を開催して行きたいと考えております。

最後になりましたが、総会の席で承認された決定事項のひとつで、支部長・副支部長の来年度の役職の辞任に伴い、96年度より東海大学付属望星高等学校同窓会熊本支部長および東海大学付属望星高等学校・熊本校同窓会会长を兼務することになりました。各支部長ならびに同窓会諸先輩方、そして全国の同窓生の皆さん宜しくお願いします。

東海大学付属高校

連 合 同 窓 会

連合同窓会に参加して



一期生 清水庄司

昭和五十年五月、霞ヶ関で産声を上げた。

連合同窓会の二十周年の節目の総会を、故松前重義先生の生誕の地、熊本の第二高校で、

昨年八月十九日 望星高校からは、熊本校の二名を含む八名参加して開催された。

十八日の午後 四校六名で、空路福岡へ飛んだ。空港からの移動は、第五高校（福岡）の岩尾氏の遠賀観光のマイクロバスを足としました。波瀾で遅れたが、故松前重義先生が、

熊本で常宿としていた丸子ホテルに到着し

て、すでに始まっていた懇親会に合流した。第二次会に馬刺の賞味に出掛け、充分堪能して来た。

総会では、各高の近況報告があり、望星からは、内木先生の叙勲の件、ラジオ放送が衛生放送になった等の報告をした。次回は第三高校（長野）で開催を決め修了した。

昼食は、立食のバーベキューで、食が進んだ。

午後からは、熊本城と水前寺公園の観光した。熊本城は、出張の折列車の合間に行つた事があるが、水前寺は初めてだ。落ち着いた気分で、園内を散策する事が出来た。

夜の懇親会のアトラクションとして、藤崎神宮の九月の例大祭の、祭囃と踊が、第二高校の方々から披露された。その賑やかな事、ご神体の相撲の神様も、ピックリ仰天される、

火砕流に埋まつた家屋を目の当たりにして、

熊本をあとにして、島原へ、波に揺られた。

火砕流の恐ろしさを感じた。

望星高校は、各地に学び舎があるので、連合窓会は、普段出来ない各校との交流の場となり、同じ望星高校同窓生としての、体感を深める、好い機会と思っている。

連合同窓会と望星高校

会長 下倉良次

平成七年十月九日、全国の仲間二十名

とともに十五年ぶりにハワイ・ホノルル空港に着きました。前回は初の海外旅行であり、しか

め仕事だったので緊張してのハワイ入りだったのですが、今回は仲間との遊びが中心なので飛行機内でものんびりとできました。

この旅行は「東海大学高等学校連合同窓会創立二十周年記念」として企画されたもので、参加者は第

高校四名、第三高校四名、第五高校三名、相模高校三名、甲府高校一名、

望洋高校名、望星高校四名が参加しました。

連合同窓会は二十年前、相模高校同窓会々長、戸塚氏の努力で発足しました。現在は全國から十一校が参加し、毎年持ち廻りで総会を開いています。地域も組織の内容も異なる二校が「東海大学」と云う名のもとに、この様に結束することは大変なことだと思います。

望星高校には六つの学校がありますが、本校を除くとまだ歴史が浅いので組織づくりは大変ですが、母体がつなので連合同窓会よりまとまりやすいと思っています。

静岡高は第一高校、熊本校は第二高校、札幌校は第四高校、福岡高は第五高校、単位制は本校と、それぞれが連合同窓会の幹事校となつて参加して、研究し、さらに研鑽を重ねて

望星高校独自の連合体を作つてゆきたいと考えております。

何年か後には全国の「望星高校同窓会」でハワイ旅行を実現したい!と希望しています。

ハワイ研修旅行七日間

畠山和子



秋晴が続く十月九日から十五日の日程で、ハワイとマウイの研修旅行が企画されました。望星高校から下倉会長、小沢、宮内、畠山の四名が参加させて頂きました。

同窓会の海外研修旅行、なんと素晴らしい企画と、感無量になりました。

成田発が九日の夜九時ごろ。七時間弱でホノルルに到着。日付変更で同じ九日の現地時間が八時過ぎの摩訶不思議。福岡発参加者と合流し、総員二十一名となりました。機外に出ると、そこは南国の大気と湿度が混在。照りつける陽ざしに目が痛いほどでした。空港のウエカム・セレモニーの蘭の花のレイが現地美女から、首にかけられハワイ旅行のス

トロピカル・ムードの満喫。移民の歴史、日本とも関連深い、このハワイの古都マウイはノスタルジックな雰囲気が随所に感じます。次にホノルル滞在三日間でしたが、ここは日本の原宿通りと錯覚しました。ホテルの林立で、窓外の景観は繁華でした。

ホノルルの最大目的は、東海大学のホノルル校参観であります。しかし残念なことに休日だったので写真撮影だけでした。ホテルの林立で、窓外の景観は繁華でした。

参加者は東海大学系列校同窓会員という、自負と、母校に対する敬愛の帰属意識の強さを、各自層深く感じて参りました。

最後は日本レストランでサヨナラパーティーを開催。東海大ハワイ校の女子学生（英語達）を交えて有意義な懇談もありました。

添乗員なしの今回の旅行、隊長格の加藤様には多大なご配慮と心労をおかけしたことを参加同感謝申しあげ、盛況かつ楽しかった研修旅行のお知らせといたします。

「政治」と「不登校」の関係

五十五年度卒業生 鈴木やすし

私は、衆議院選挙東京25区（福生、羽村、あきる野、青梅、西多摩郡）に、海江田万里代表の新党「市民」リー

タートとなりました。

最初はマウイ島の滞在でした。二日間は各自のオプショナル自由行動で、ゴルフ組、マ

ウイ半日観光、潜水艦で海中の散歩など、良質なトロピカル・ムードの満喫。移民の歴史、

日本とも関連深い、このハワイの古都マウイはノスタルジックな雰囲気が随所に感じます。

次にホノルル滞在三日間でしたが、ここは日本の原宿通りと錯覚しました。ホテルの林立で、窓外の景観は繁華でした。

ホノルルの最大目的は、東海大学のホノルル校参観であります。しかし残念なことに休日だったので写真撮影だけでした。それでも参加者は東海大学系列校同窓会員という、自負と、母校に対する敬愛の帰属意識の強さを、各自層深く感じて参りました。

最後は日本レストランでサヨナラパーティーを開催。東海大ハワイ校の女子学生（英語達）を交えて有意義な懇談もありました。

添乗員なしの今回の旅行、隊長格の加藤様には多大なご配慮と心労をおかけしたことを参加同感謝申しあげ、盛況かつ楽しかった研修旅行のお知らせといたします。

無事に市、県、全国展へと進みました。

調子に乗って中学1年生の時も連続入賞をねらい、私は中学の理科の先生に直接談判し、出展を依頼しました。ここに、人生を左右する大きなオトシアナガがあつたのです。

私は、発表が楽しみで息吹ききて会場へ向かいました。しかし、私の作品が見あたりません。係の人に聞いてみると、出展されていないとの事。学校に戻り、理科の先生に聞いてみたら、先生の引き出しにしまわれたまま、忘れ去っていたのです。先生曰く「悪い、コレ出展してもどうせダメだから気にするな」私はこのとき、社会のお手本（＝センセイ）を全面的に信じられなくなつたのです。結局、以来出展は自らの手で直接持ち込み、幸いにも、忘れ去られた1年越しの作品を含めて全作品が全国展入賞を果たしました。

このような体験を持って高校に進学したの

ですが、そもそもセンセイを信頼できない私は通学という負担に耐える事ができなくなり、「不登校」というレッテルを貼られました。

そして、このレッテルを戻すべく望星高校へと転向（転校ではありません）したのです。

その後、政治との関わりが薄かった（そう思っていました）20代は、選挙へも行かずしてしまいました。ところがなんと、クラスメートの人が市長賞を取ってしまったのです。

これが人生最初の敗北感でした。私は、コシタンタンと次の発明展を狙いました。それはど悔しかつたのです。6年生時の発明展は、

無事に市、県、全国展へと進みました。

福祉に使う約束で新設されたハズの消費税の単純値上げなどなど、「どれをとっても将来を考えない政治が、社会のお手本であるはずがない」と思うまでになってしまったのです。

そもそも、政治と宗教は人前で語るべきではない。一般的によく言われる事ですが、私そのように社会の先輩に教わった記憶があります。

これは、「その思考を押しつけるべからず」という事であると解釈するべきで、高齢化社会が押し迫り、その負担が3倍に膨れ上がるにもかかわらず、保身に走る政治家ばかりがひこる現在、私は敢えて国政での戦い挑みます。そろそろ家庭や職場、学校でも積極的に政治について話し合う事が必要な時代になってきたのではないでしようか？

第九回 望星ゴルフ大会

古森大助氏が優勝!!

第九回大会は、平成七年七月二十八日(金)に神奈川県のレインボーゴルフで行われた。

梅雨明けの真夏日であった。学校も夏休みになつたので先生方も交えての大会となり、先生七名、同窓生六名で熱戦の結果、古森大助氏(二期生)がネット七十三、八で優勝、才二位は安達先生の七十四だった。次回は優勝者の古森氏にコース選択をして頂き開催する予定です。

腕自慢の方の参加をお待ちしています。

連絡先 ○四七四一三二一九六四七 下倉

学校だより

桑島 祥夫

同窓生の皆さんが在学中、いろいろあった学校行事(文化祭・合宿スクーリング・修学旅行等)は規模の縮小とか、多少さまがわりはしたもの、いずれも健在ですが、今回は全く新しい行事・スキー教室について、ふれたいと思います。

これは、有志の生徒を体育の担当者や若い教員(最近の望星職員室は、かつてと比べるとグーンと若がえった)が、長野県にある東海大学施設・嬬恋センターで、3日間にわたりてスキーの特訓を行なうもので、今年で2年目。体育の出席時数にプラスされるとあって、とかく体育の実技をきらう最近の生徒から歓

れていくことと思われます。

平成七年度における特筆大書すべき学校だ

よりは、何といっても、校長を始め、永年勤続者が多いことで、これをもって見ても、いかに先生がたが、この教育に熱をもって長

年打ち込んでいるかが分かろうというものがだれだ、他に行く場所がどうせないんだろうなんて言うやつは!」。

以下、表彰された先生がたを紹介すると、

四〇年 工藤 仁校長
三五年 桜井 須磨子先生

三〇年 大室 正男先生
金子 純郎先生

一五年 鈴木 敏幸先生
高橋 佑吉先生

二〇年 荒井 薫子先生
田中 聰先生

十五年 平沼 菊地 宣行さん
唐澤 敦納 雅子さん

一〇年 大谷 光夫先生
数納 政人先生(静岡校)

同窓会の皆さん、近くを通つたら、ちょっと職員室にも立ち寄つて下さい。

●二期生 脇 忠雄さんが平成七年一月三十日にお亡くなりになりました。
●三十期生Mクラス 河原大介さんが平成七年二月五日お亡くなりになりました。

心からお悔み申し上げます。

平成6年度 決算

収入	支出
前期繰越金 5, 260, 996	連合会関係費 170, 000
新会員入会金 1, 259, 000	生徒会関係費 40, 000
新会員年会費 1, 259, 000	通信費 600, 661
総会時年会費 23, 000	会報費 303, 850
総会時寄付金 6, 000	事務局費 117, 781
同振込年会費 461, 000	総会費 85, 917
同振込寄付金 309, 000	印刷費 172, 525
銀行振込年会費 0	消耗品費 992
雑収入(利子等) 205, 685	交通費 62, 600
	会議費 41, 089
	卒業名簿費 355, 350
	雜費 0
	支部活動費 164, 000
	繰越金 6, 668, 916
合計 8, 783, 681	合計 8, 783, 681
次期(平成7年度) 繰越金 6, 668, 916	

平成7年度 予算案

収入	支出
前期繰越金 6, 668, 916	連合会関係費 230, 000
新会員入会金 1, 404, 000	生徒会関係費 150, 000
新会員年会費 1, 404, 000	通信費 750, 000
年会費 700, 000	会報費 330, 000
雑収入(利子等) 200, 000	事務局費 150, 000
	総会費 100, 000
	印刷費 250, 000
	消耗品費 50, 000
	交通費 250, 000
	会議費 100, 000
	卒業名簿費 380, 000
	支部活動費 550, 000
	機器購入費 600, 000
	総合名簿積立金 3, 000, 000
	雜費(継越金) 3, 486, 916
合計 10, 376, 916	合計 10, 376, 916

上記決算、監査の結果、相違無い事を認めます。 平成7年 5月28日

監査役 清水 庄司 (2期) 監査役 小澤 エミ子 (120期)

平成6年度総会・懇親会収支決算報告

平成6年6月12日 東海大学付属望星高校において

収入	支出
会費 167, 000円	飲食費他 252, 917

△85, 917円(総会費より負担)

平成7年度役員選出

会長	下倉 良次(5期)
副会長	塗谷 憲康(6期) 原澤 純一(9期) 寺林 勝實(29期) 同 遠藤 治雄(32期)
書記	大谷 あづさ(28期)
会計	長南 友行(7期) 青木珠美(28期)
事務局長	金谷 義孝(14期)
事務局次長	樋口 七郎(24期) 原田 進(26期) 本間 幸枝(32期)
コンピューター	畠山 勝(16期)
広報	宮内 哲也(29期) 岡田 貴弘(30期) 古谷 幸子(32期)
監査役	清水 庄司(2期) 小澤 エミ子(20期)